

分会長は増し刷りをし、管理職と会計年度任用職員も含めた全職員に配布してください。

高教組 速報

全
職
員
配
布

2025 年 4 月 25 日 (金)

発行 長崎県高等学校教職員組合

〒856-0013 長崎市中川 2 丁目 2-5

☎ 095 (827) 5882

✉ naga-kks@fsinet.or.jp

文責 書記長 岡山英生

春闘教育長交渉

高教組は4月24日、県教委との間で春闘交渉を行いました。県教委は、教育長をはじめ教育政策課長、人事管理監など8人が出席、高教組は、本部と長崎支部長、青年部長の6人が出席しました。高教組は、全職種、全職員における、賃金・手当の改善、時間短縮、休暇の拡大、ハラスメントの解消、納得のいく人事異動と、すべての生徒たちの教育条件の整備、保護者負担の軽減、民主的で豊かな教育の実現を求めて、118の要求を県教委に伝え、そのすべてに回答を得ました。いくつかの点で重要で前進がありました。その一部を紹介します。

海友丸不利益変更問題

教育長は「労使交渉がないというのは本来あってならないこと。三県の意味疎通を取れなかったことを重く受け止めている。今後こういうことがないよう、どういうことができるかも含め対応したい」と述べました。

変形労働時間制問題

県教委は、これまでの交渉で、超勤が月40時間を下回らない限り導入しないと述べていましたが、教育長は今回「まずは業務削減を行う。目標を達成した段階で、導入の有無も含めて検討を行う」と述べました。超勤が縮減されても導入しないことがあり得るとの考えを示すものです。

高校統廃合問題

教育長は「統廃合を積極的に進めるつもりではない。当該校、地域、保護者等とも話をし、納得を得ていきたい」「高教組とも意見交換をしたい」と述べました。またある小規模校の維持について、経済合理性だけでなく教育効果を踏まえたと説明し、「子どもたちの未来のため、お金の話ではない。そこはしっかりやっていきたい」と述べました。

この他、非常勤講師の空き時間の問題、雇入時の健康診断費の負担問題、特定職種での昇給停止問題、休暇改善やハラスメント解消の課題、実習教員の呼称改善の課題等について重点的に交渉しました。詳細は高教組新聞に掲載します。

交渉は力、力は数 物事を進めるには力が必要ですが多数決の世の中で力は数です。県教委は「理解できるが財源がない」と言います。大勢の願いだと示すことが大事です。高教組は管理職以外の誰もが入れます。まだの方はぜひ加入をお願いします。



Web



X



facebook



Instagram